

# 自分を語る 第2号

伊万里実業高等学校校定時制 生徒会

※令和6年度の「生徒会通信」は、記事ごとにタイトルを変えていきます

## 特集 校内生活体験発表会

### 書く、語る、そして聞く

生徒会担当 松本 哲



定時制にあつて全日制にない行事、ここでは唯一それが「生活体験発表会」です。校内での会は、県大会とは別の主旨で行つていますので、ここでは、例えば長く持ちました。書き「書く」ことは「話す」ことと違い、頭の中で整理し考える必要があり、時間を相対的に長く感じます。書き「書く」ことは「話す」ことと違い、頭の中、今の自分が客観的に振り返ることができるといふのが、過去の経験のすべては「語る」というのは、過去の悔しい思い出や悲しさを克服できたこと、高らかな証だと思ふように、この「当時」は「語る」というのは、過去のす「では語れませぬ」こと、共感を得る、互いの励みにしていく。これが、校内生活体験発表を形作ってきた私の思いです。

### 結果発表

※順位は、全参加者の総合評価（順位）をもとにポイント化し決定しました。



第1位 浦川海來（3年）

第2位 小林総司（4年）

順位一覧は、公表していません。全員が大健闘に値する活躍であったと思ふます。個人的な評価については、個票に示したとおりです。今後の参考にしてください。

### 発表者、演題 一覧（発表順）

1	2年	和田大樹	優しい人に囲まれながら
2	4年	中島晃輝	バスケットで得られたもの
3	2年	原田莉唯	趣味を楽しむために頑張っていること
4	1年	小柳陽加	私が絵を好きになった理由
5	4年	川原優輝	仕事って、慣れると楽しくなるんだ
6	3年	小松楓秋	私の成長とともにあったアルバイト生活
7	1年	山下喜俊	ゲーム好きにしか伝わらない話
8	4年	小林総司	体験発表のうら話
9	3年	浦川海來	笑顔の接客は成長のしるし
10	3年	原田麗嗣	勉強嫌いな僕がたどり着いた場所

#### （審査方法）

- ① 内容  
聞き手に勇気や元気を与えることができたか
- ② 発表態度  
堂々とした態度で発表できたか
- ③ 発声  
聞き手に配慮した発声であったか
- ④ 意外性  
発表に向けて努力した片鱗がどれほどかがえたか

#### 浦川さんへのコメント(抜粋)

- ・母を「尊敬する人」と明言できたことは素晴らしい。アルバイトを頑張っているからこそお母さんのすごさに気づけたのだと思います。
- ・発表中に目配りをしながら、より「伝えよう」とする思いが見て取れました。
- ・常に前を向いて発表しているのが良かったと思います。
- ・自分の短所を自分なりに理解して、それも長所であると意識した生活ができていることはいいことだと思います。
- ・発表に落ち着きがあり、聞き手を意識した姿勢が素晴らしいと思いました。

#### 小林君へのコメント(抜粋)

- ・堂々とした発表で、みんなの前で話すことの自信が伝わってきました。優しい声で、表情がいい。
- ・経験したことや学んだこと、挑戦することの大事さなどがわかりました。
- ・昨年、県大会に参加した経験からか、発表姿勢に余裕を感じました。
- ・聞き手に目配りをしながら、アクセントをつけた話し方が聞きやすかったです。

